

幼稚園

企画課管理用 教 — E — 1

推進主体	幼稚園
責任者	幼稚園長

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
教 — E	学習院幼稚園の保育の継承	令和 4 年度	令和 8 年度	あり(予定)

① 目的・内容

学習院幼稚園は、華族女学校幼稚園として明治27年に開園された時より、その「保育要旨」の最も注意すべきこととして幼児の身体の発育が取り上げられ、常に「心性ノ快樂、動作の快活」の状態であることを望み、幼児が自由に遊び楽しむことを制限しないようにしている。また幼稚園は学校教育における授業の方法に倣うべきものではなく、「母ノ心」を旨として保育を行うべきであるとしている。このような、遊びの生活を中心としての豊かな基礎作りをしていくという創立当初から変わることのない教育は現在も継承され、幼稚園の特色として大人になった卒業生からも支持を得ている。この教育を安定した保育として実践し正しく次世代に引き継いでいくことを目的とする。

どの時代においても幼稚園教諭は女性がほとんどであるため、結婚出産の時期は避けては通れないことから、中堅の教員の育成に力を注ぎ途切れず安定した保育が出来ることを目指す。

幼稚園のもう一つの特色である「豊かな自然」の中で身体を十分に動かし五感を使う教育を推進していくために、園庭の植栽の整備を四季を通じて安定的に行えるようにする。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

- ・安定した雇用
- ・持続性のある計画的な植栽整備による、園内の豊かな草花や樹木等の維持管理。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定		園内の植栽整備					

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅教員の積極的な学びの機会として、外部研修の利用を更に広げる。 ・園児の生活する場を、四季折々の豊かな自然環境にするために、園庭の植栽の剪定や肥料の時期などを、植栽ごとに管理し、園庭の自然環境を豊かに持続させる。 ・四季折々咲く花や果実等、栽培可能なものを検討し、球根栽培や畑の野菜の世話など、日常的に自然に触れる機会を更に増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第7波の影響で半年間保育時間が変則的であったため、教員の外部への研修の時間をとることが叶わなかった、しかし参加必須のオンライン研修は、教員全員自宅で受講することができた。 ・園児の生活する自然環境の整備は、失敗を繰り返しながらも、種まきや剪定など、すこしずつ季節に応じて整えることができています。 ・入試の時期や草花の入れ替えの激しい時期になかなか整備ができない実状を鑑み、一部業者に相談し、補って整備をできるものか検討していくことが課題である。
令和5年度 (2023年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の更なる研修の場として、外部研修の利用は継続していく。 ・教員の要望に沿った外部の専門家等を招いて園内で研修を実施する。 ・園庭の植栽整備、剪定、種まき、草花の管理、畑での栽培についてなど、1年を通して四季折々の花が美しく咲くよう、試験的に業者を通して整備を行い、その基礎的な知識やコツを学ぶことを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は、徐々に対面になってはきているものの、まだ危機管理上オンラインの研修を受ける教員がほとんどである。幼稚園にとって必要と思われる研修は共有し、専任教員全員で受けることができた。 ・外部の専門家を招いての園内研修は実施ができなかった。 ・園庭の植栽管理、剪定、種まき、草花の管理については、専門の業者に入ってもらい年4回整備と指導を受け実施した。今後もしばらく継続の予定である。
令和6年度 (2024年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の要望に沿った外部の専門家を招いての園内研修を検討する。 ・継続して行っている、幼稚園にとって必要な研修は、専任教諭に加え非常勤教諭とも共有していくことが必要である。 ・植栽管理の専門業者を招いての園庭整備は、教員の草花、畑の作物栽培の知識への広がりや、興味関心へとつながっていくことから、しばらくは継続して指導を受け、樹木の剪定や整備をお願いしながら継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の植栽管理においては、学習院幼稚園の魅力の一つとして力を入れ整備を行った。猛暑対策としてスプリンクラーの拡充を行い植栽への適切な水やりを管理できるようになった。 ・園児の食育、植物への理解を深めることを目的とし、女子大学環境教育センターと連携している農家の方から、農作業の話を伺う会を実施した。体験活動を伴った稲作の話や、野菜の植え付けを学び、身近な生命への関心を育む機会となった。
令和7年度 (2025年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修の充実を図り、教員の保育技術向上を目指す。具体的には、経験年数が長い教員の保育を見る保育研究の実施を検討している。また互いの保育を見合うことでの学びが得られるような機会を設ける。 ・よりよい栽培活動が展開できるよう畑の拡張を計画している。また令和6年度実施の「農家の方の話」は季節ごとに行うよう回数を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習院幼稚園で30年以上保育に携わる教員の保育を記録動画に収め若手教員が見るという形で研修を行った。学習院幼稚園の保育を理解するために、声掛け、所作、クラス運営を記録動画に残すことで保育継承のための貴重な資料となった。 ・年度初めに畑の拡張工事を行い、より多くの野菜を栽培することができた。また、農家の方の農業指導を春・秋の2回に増やし体験学習を充実させた。
令和8年度 (2026年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の充実の中でも、R7年度より年2回実施している「農家の方の話」は体験学習として効果的である。通年学習として、「田植え、米の収穫、稲わらを利用したしめ縄づくり、おにぎり作り」と、一貫したプログラムを行うことで深い学びを得ることができる。 ・農家の方のお話を通して農業を知ることが、本物に触れる貴重な経験としてR8年度も継続していきたい。 	